

多要素認証 利用できない場合の事前対策と事後対応

はじめに

本書では、スマートフォンの紛失・故障・機種変更を例に、多要素認証が行えない場合の事前対策及び事後対応について説明しています。

本書の説明に用いている各種画像は、2022年1月21日に取得したものです。

※画面ショットと実際の操作画面が異なる場合があります。

事前対策と事後対応が必要な時ってどんな時？

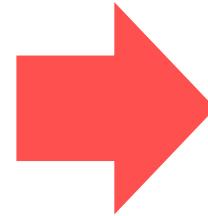
紛失・盗難

故障

機種変更

バッテリー切れ

香川大学のサービス利用が出来ない



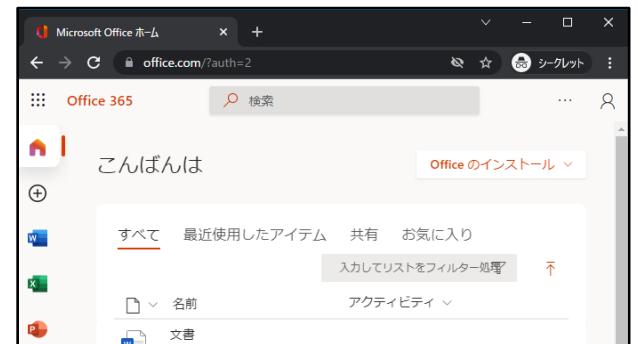
事前対策として、

「認証方式の変更・追加」の設定を行っておくことで、上記のようなことが原因で既定の認証がおこなえない場合に備えることができます。

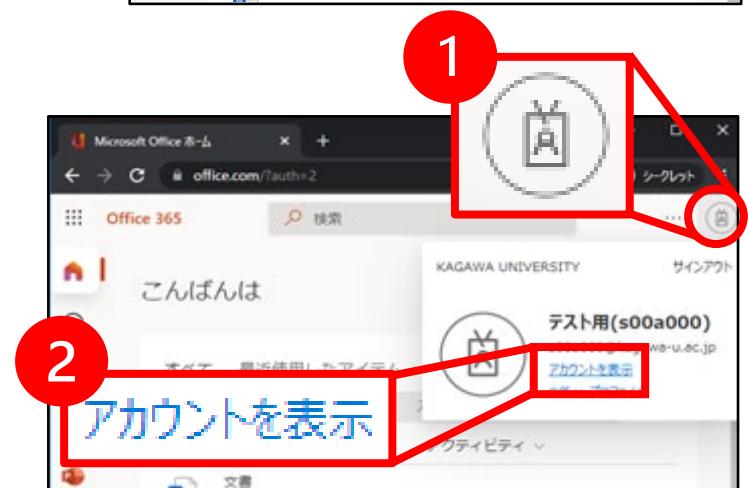
設定方法（設定画面の開き方）

1. Microsoft365サインインします。

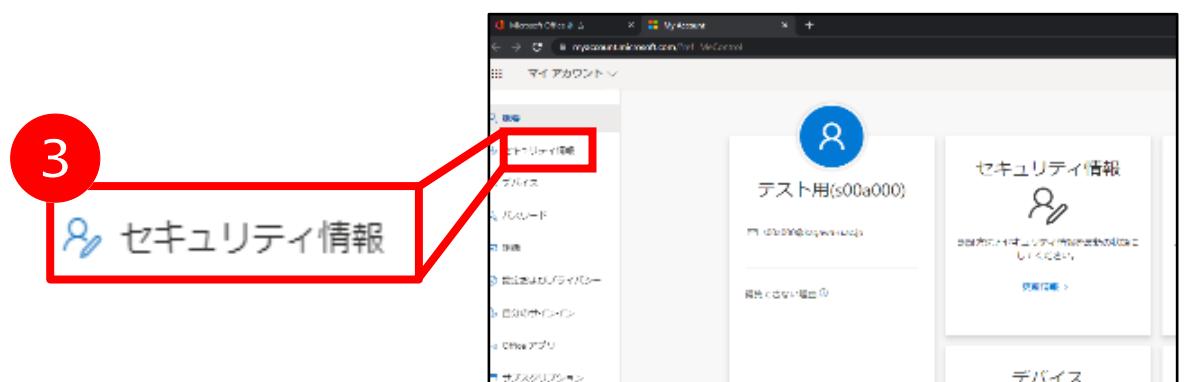
<https://www.microsoft365.com/>



2. 右上「アカウントマネージャ」、次に「アカウントを表示」をクリックします。



3. 「セキュリティ情報」をクリックします。



設定方法を追加する

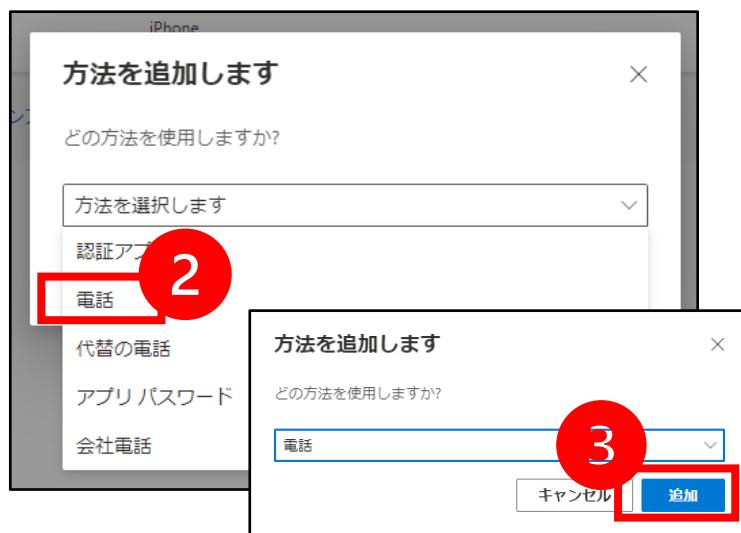
1. 「セキュリティ情報」を開いたら、「+サインイン方法の追加」をクリックします。



2. 追加する方法を選択し、「追加」を押します。

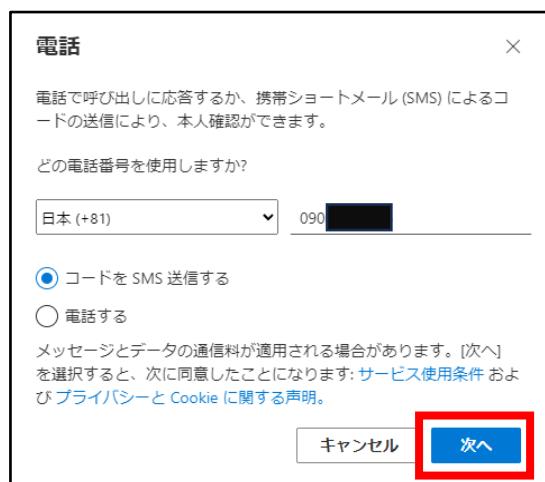
Authenticatorを既存の方法にしている場合、「代替の電話」を選択してください。

・アプリパスワードの場合も、Authenticatorが必要です。



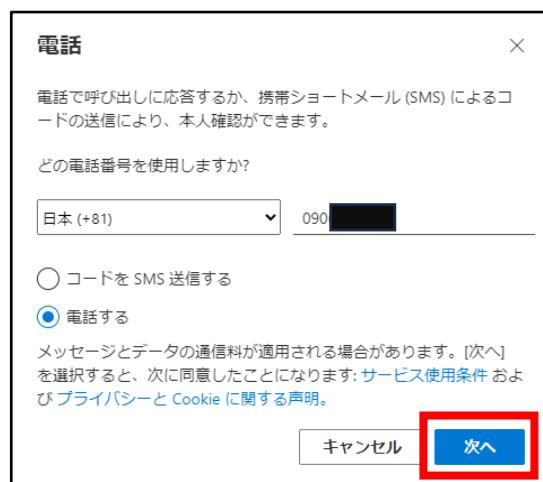
3. 「コードをSMS送信する」か「電話する」を選択することが出来ます。

・「コードをSMS送信する」方法

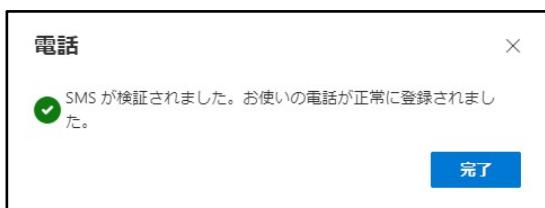
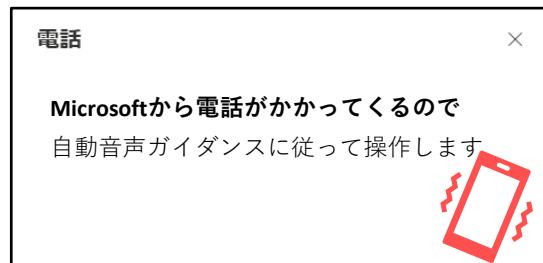
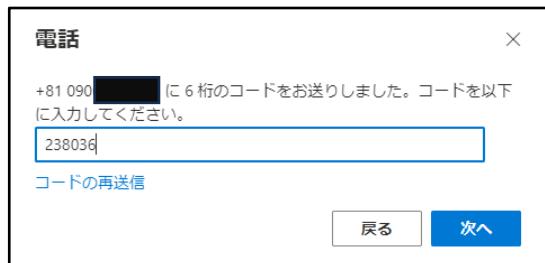
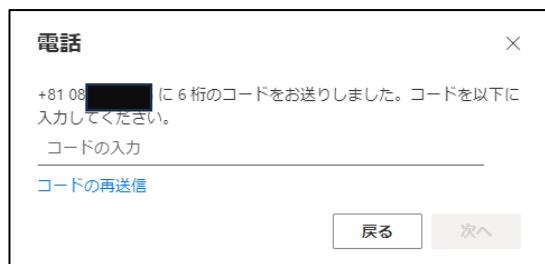


電話番号を入力、
設定方法を選択して
「次へ」を押します。

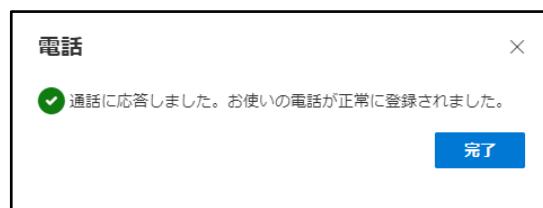
・「電話する」方法



それぞれの指示に従って
設定を進めていきます。



正常に登録が出来ました。

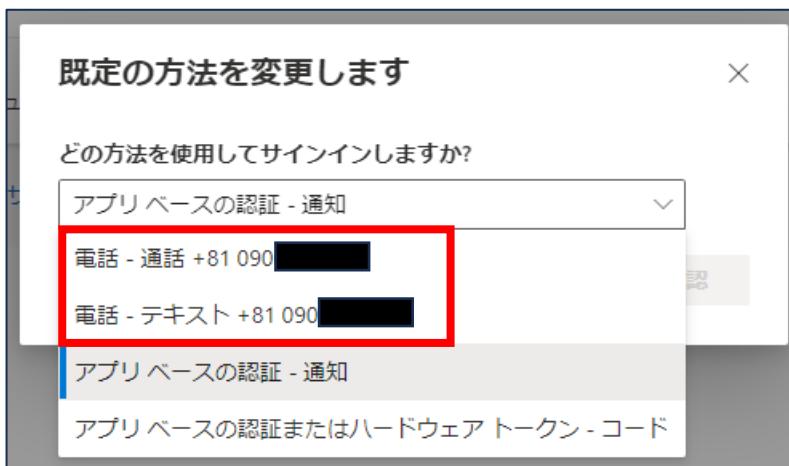


既存のサインイン方法を変更する

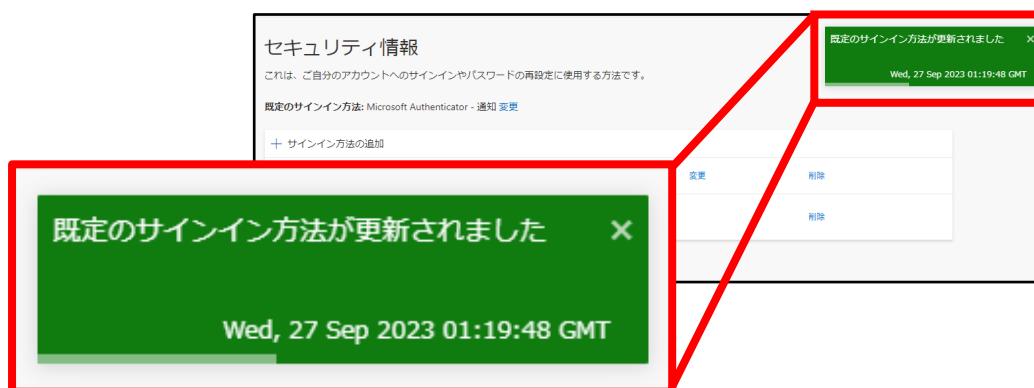
1. 「セキュリティ情報」を開いたら、既定のサインイン方法: ●●● - 通知横の「変更」をクリックします。



2. 変更したいサインイン方法を選択します。



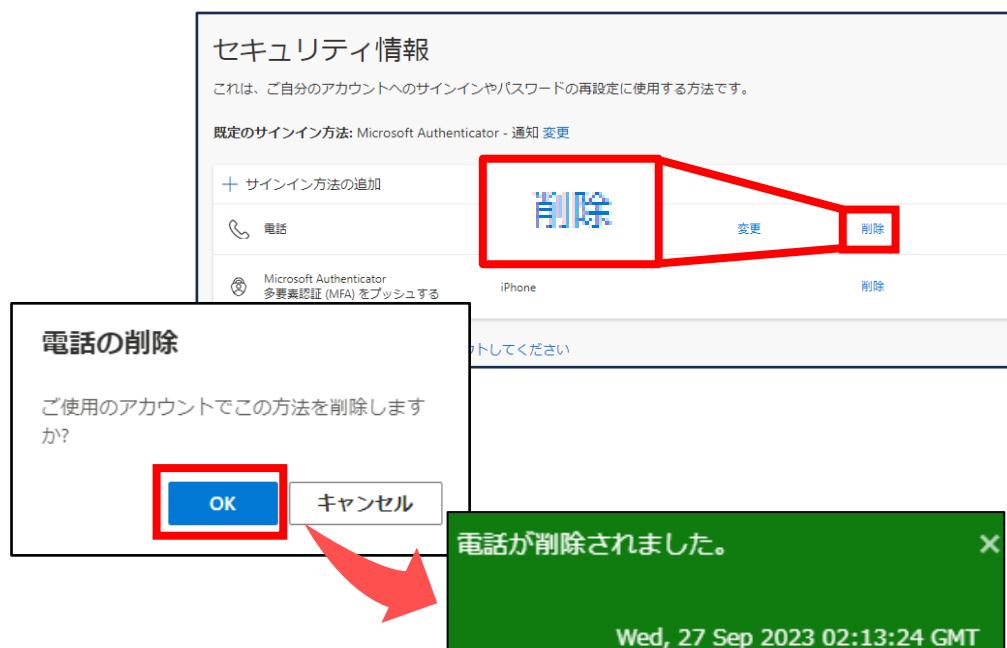
3. 変更が完了できました。



既存のサインイン方法を削除する

1. 「セキュリティ情報」を開いたら、登録済のサインイン方法右端にある「削除」をクリックします。

削除してよければ「OK」を選択します。

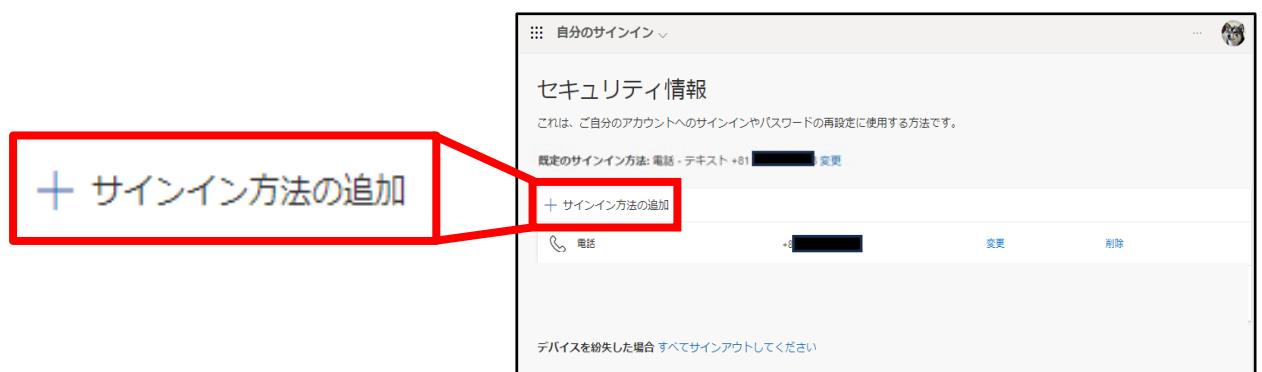


携帯電話の機種変更をしたとき

1. 「セキュリティ情報」を開いたら、今登録している「Microsoft Authenticator」を削除します。



2. 削除出来たら、「+サインイン方法の追加」から、「認証アプリ」を追加します。



3. 案内に従って、アプリを登録していきます。

やり方が分からないときは、「設定方法について」のマニュアルを確認して下さい。



4. 既定のサインイン方法を「Microsoft Authenticator - 通知」に変更します。

